

がん哲学外来

第5回

メディカル・カフェ in 菊名 開催のお知らせ

やさしさをお裾分けすることで、
人はつながっていきます。

譲って列の一番後ろに立ったら、振り返ってみましょう。
あなたが一番前にいることに気づきます。

主催：菊名西教会

後援：一般社団法人「がん哲学外来」

日時：5月13日(土)

午後1時30分～4時(午後1時受付開始)

講演：唐澤久美子先生

(東京女子医科大学放射線腫瘍学講座教授・講座主任)

場所：菊名西教会会堂 会費無料

当日
スケジュール

13:00	受付開始
13:30	開会
13:45	唐澤久美子先生の講演 (東京女子医科大学放射線腫瘍学講座 教授・講座主任)
14:10	メディカル・カフェ コーヒーを楽しみながら、数人のグループでの自由懇談
15:30	まとめ 唐澤先生との質疑応答
16:00	終了

がん哲学外来とは？

がんと告知された患者さん、治療を受けながらがんと向き合う患者さんやご家族が抱える「悩み」「不安」「想い」「願い」などを医師と話し合い、それらを「解消できる道」「心が楽になる道」「そっと励ます道」を探る医療活動のひとつです。

がん哲学外来は樋野興夫先生が2008年、順天堂大学に開設し、今では全国の病院に広がりつつあります。

メディカル・カフェは、がん哲学外来の理念のもとに生まれたグループ対話の場です。



第4回メディカル・カフェ in 菊名 (2016年10月) のワンシーン。

今回の「メディカル・カフェ in 菊名」では、唐澤久美子先生に、これまでの治療体験にもとづいた貴重なお話を紹介いただきます。自由懇談の際には、各グループを巡って懇談に加わってくださるとのことです。

●メディカル・カフェとは？

がん哲学外来とともに全国的な広がりを見せているのが、「メディカル・カフェ」です。この催しは樋野先生の理念に賛同する医師や看護師、患者さん、宗教者、市民などが運営するもので、今は全国約130カ所を超える教会、寺院、病院、公共施設などで開催されています。

がん哲学外来は医師と患者さんの個人面談がメインですが、メディカル・カフェは患者さんやそのご家族、医療従事者の方々などが数人のグループに分かれ、コーヒーなどをたしなみながら自由に懇談するスタイルになっています。

唐澤先生からのメッセージ

「私は、いずれ風邪薬を飲むようにがんを完治できる日がくることを信じて、治療と研究を続けています」

(唐澤久美子)

唐澤久美子 (からさわくみこ) 先生

東京女子医科大学放射線腫瘍学講座 教授・講座主任

東京女子医科大学放射線科講師、順天堂大学放射線科助教授、放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター病院治療課第三室長などを歴任。

ご専門：放射線療法、がん治療医、乳腺専門医
ご出身：横浜市・白楽



樋野興夫先生は、どんな方？

1954年、島根県生まれ。順天堂大学医学部病理・腫瘍学教授。医学博士。一般社団法人「がん哲学外来」理事長。米国アインシュタイン医科大学肝臓研究センター、米国フォックスがんセンター、癌研実験病理部長を経て現職。日本癌学会理事、日本家族性腫瘍学会名誉理事長、がん哲学外来市民学会代表。

2008年、「がん哲学外来」を順天堂大学病院に開設し、現在は「がん哲学外来&メディカル・カフェ」を全国で展開。

主な著書に、『使命を生きるということー真のホスピス緩和とがん哲学外来からのメッセージ』（柏木哲夫＋樋野興夫 青海社）、『いい覚悟で生きる』（小学館）、『明日この世を去るとしても、今日の花に水をあげなさい』（幻冬舎）、『「今日」という日の花を摘む』（実業之日本社）などがある。

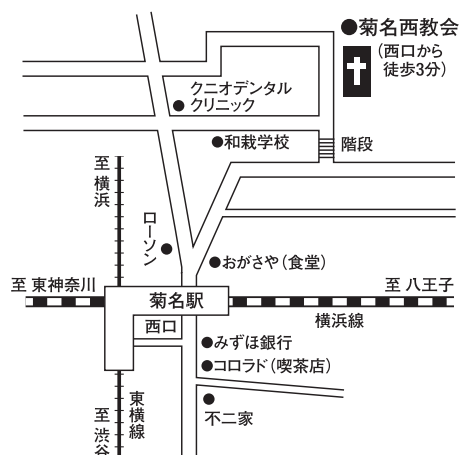
樋野先生からのメッセージ

今回は唐澤先久美子先生から、皆様にお話があるということですね。

先生はさまざまな放射線治療に挑まれ、たくさんの素晴らしい業績をあげている方です。

ありがたいことに、がん哲学外来は今、数多くの医療従事者の方々にも高い評価を受けるようになりました。

唐澤先生のお話は、必ずや皆様のお心に響くことでしょう。



お申し込み・お問い合わせ先

日本長老教会 菊名西教会

東急東横線菊名駅西口より徒歩5分
〒222-0021 横浜市港北区篠原北1-3-22
電話 (FAX) : 045-433-5275 (担当 平林知河)
E-mail : kwc@nifty.com

次回メディカル・カフェのお知らせ

10月7日(土)午後1時30分~4時 菊名西教会 会堂にて。
樋野興夫先生の講演と「個人面談」があります。
ご期待ください。